

市町村教育委員会によるキャリア教育の取組事例

《小学校》

寒河江市教育委員会	ライフデザインセミナー
コドモシゴト in 寒河江小学校 寒河江小学校の5学年親子行事で、市商工会青年部26、寒河江工業高等学校1の合計27のブースを校舎内に出していただき、親子で職業体験を行った。	

鮭川村教育委員会	総合的な学習の時間6年「将来の自分」
児童の希望する職業のゲストティーチャー（鮭川小出身の消防士、地元レストランシェフ、助産師、介護福祉士等）の講話等により、キャリアに係る学習を進めた。	

《小中学校》

酒田市教育委員会	将来の夢を育むためのキャリア教育の推進
市商工会青年部や地元企業等と連携して、幅広い職種の中から講師を呼び、児童生徒へ講演を実施（小中学校からの学校提案型のキャリア教育）。	

《中学校》

天童市教育委員会	中学生市民科副読本事業
ふるさとを知って、誇りをもち、市民としてよりよく生きる姿勢を育み、働くことの意味や価値を学ぶ天童市「市民科」副読本を発刊。総合的な学習の時間等で活用。	

尾花沢市教育委員会	Waku Waku Work
地元企業が工夫を凝らして中学生へ業務内容や仕事のやりがいなどを紹介。生徒は地元企業に対する興味関心を高め、今後の進路選択の参考とすることができた。	

米沢市教育委員会	米沢市中学校「米沢チャレンジウィーク」
例年は郷土愛を育み、自己の進路を考えるための職場体験等を実施。令和3年度は、市内の職業人による「職業と自己の生き方に関するオンライン講話」を開催。	

高校生の取組事例

山形工業高校・山辺高校	I o Tを活用したマンゴー栽培・活用
温度管理等にI o Tを活用しマンゴーを温室栽培。県内の学校や事業所との連携による加工品開発（山辺高とのケーキ開発、南陽市の菓子店への提供等）。	

谷地高校	かほく探求実践プロジェクト
谷地高校と町、地域総合商社「かほくらし社」による、地元定着促進、産業創出を目指す産学官連携策。「ひなの湯」誘客や町内の酒蔵との協働による記念酒の製造。	

村山産業高校	地元事業所との連携による商品開発等
農業科学部の生徒による総菜「まんま いも煮」の開発。六歌仙と協働した純米吟醸酒の製造。農業経営科が酒米栽培、流通ビジネス科がラベルのデザインを担当。	

新庄神室産業高校	地元事業所との連携による商品開発
「高校生山形うまいもの商品開発コンテスト」で最優秀賞に輝いた「まるでラ・フランスなパン」を㈱ローソンとの共同開発で商品化。東北6県のローソンで販売。	

新庄神室産業高校・新庄東高校	高校生地域活動チームによる魅力発信
新庄市の高校生地域活動チーム「WATS」（新庄神室産業高、新庄東高の10人が参加）による地元活性化の取組み。地元商店街と連携し新庄まつりのPR動画の製作等。	
米沢興譲館高校	探究型学習を通じた観光振興イベントの開催
探究型学習を通して学んだ「紅花染め」を活用し、地元の企業、団体と連携し、高校生の視点で観光振興のためのアートイベントを開催。	
南陽高校	南陽高校市役所部
市内の専門店とジェラートを共同開発し、販売。市と包括連携協定を結ぶ東京大学先端科学技術センターの助言等による地域課題解決ワークショップ等の開催。	
長井工業高校	長井市ものづくり人材育成協議会による取組み
市内の企業、教育関係者等の連携による長井工業高の魅力アップ等のための取組み。インターンシップ、「全校課題研究発表会」の開催等。同校卒業生の就職先は西置賜で約50%、置賜全域で約75%を実現。	
酒田東高校	地域の企業との協働活動による魅力発信
酒田市を代表する企業「酒田米菓」と協働し、オリジナルキャラクター「オランダちゃん」とコラボしたオリジナルドラマによる酒田市、酒田米菓、高校のPR。	
酒田光陵高校	地域と連携した地域活性化の取組み
平成30年2月、地域課題の解決に取り組む一般社団法人「SKIES」を設立。令和3年度は、酒田駅前交流拠点施設ミライニにおいて、規格外の農産物などを販売するマルシェを開催し、賑わい創出、食品ロス・プラごみの削減などを呼びかけ。	

県内大学等との連携によるキャリア教育の取組事例

東北芸術工科大学	全国高等学校デザイン選手権大会の開催
高校での探究型学習の成果を発表し交流する「全国高等学校デザイン選手権大会（デザセン）」の開催。※2月末に開催される2021年度決勝大会（10チーム参加）への県内出場校は、 <ul style="list-style-type: none"> 山形中央高校「山形しかカタン」：ボードゲームを活用した市内の観光振興 谷地高校「すてきな「えっ☆ほん」～わたしたちのエマニチュードをさがして～」：絵本を使った認知症の方とのコミュニケーション の2校。 	
東北公益文科大学	ジュニアドクター鳥海塾（対象：小学5年～中学生）
将来の科学技術イノベーションをけん引する傑出した人材の育成に向け、小中学生を対象に理数・情報分野の学習などを通じてその能力を伸ばさせる体系的な取組み。 第一段階ではプログラミングの基礎を学び、第二段階ではゼミ活動を行い発表・論文作成等を行う。（科学技術振興機構「ジュニアドクター育成塾」（R3～））	

その他、連携協定による高等学校等への出前講座、探究型学習への指導助言等

山形大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、県立米沢女子短期大学、県立産業技術短期大学、県立農林大学校等